

2020年度事業

〈概要〉

今年（2020年）は會津八一記念館開館45周年の節目の年にあたる。新潟市名誉市民・會津八一の幅広い業績を多くの人々に興味関心を抱かせるように多角的な視点から展覧会4本、および普及活動を計画している。

夏の特別展は、會津八一の書を愛好した書家の榊莫山（1926～2010）がことし歿後10年にあたることから、莫山を取り上げる。莫山は八一の書を愛好し、自身の随筆でたびたび八一の書や歌碑を評価し、書からにじみ出る八一の人間性を紹介した人物である。また、莫山は、「自分ならではの書」を求めて研鑽、文字の本質に迫ろうと漢字一字だけの作品を発表。さらに自分の絵に自作の詩を加える、いわゆる「詩・書・画一体」の作品を生み出し、莫山流の書の世界を完成させていった。莫山の作品を収蔵する三重県立美術館や東大寺からそれらを借用して展示する。

春の企画展は、新潟市周辺に残る作品や他県にある歌碑拓本などを紹介する。これをきっかけに、市街にある八一の足跡を気軽に巡ってもらえるような展示構成にしたい。秋は様々な分野に挑戦した八一の活動に着目する。書家、歌人、美術史家としてだけでなく、戦後夕刊新潟社社長や新潟市名誉市民となり、地域文化振興のために活躍した八一の実像も紹介する。冬は「私が選んだ八一の書」（作家編）として当館ゆかりの作家が選んだ八一の書作品や、その作家自身が発表した作品も併せて紹介する。併せて第14回写真コンテスト入賞入選作品展を開催する。

普及活動では、学習講座「八一を知る」入門編を下半期に開講。当館職員が講師となり、テーマを設けて初心者向けにわかりやすく解説をする。2019年度にひきつづき、新潟県書道協会所属の書家に展覧会タイトルを揮毫してもらい展示室入り口に掲示、八一往復書簡集「雁魚来往」第8集の刊行、写真コンテスト全国巡回展などを計画している。

〈事業計画の内容〉

（ア）展覧会事業 開館日数 282日

分類	展覧会名（仮称）	会期	内容
1 企画展	新潟市會津八一記念館開館45周年記念 心の旅	4月7日（火） ～7月5日（日） 78日間	會津八一が晩年を過ごした故郷・新潟市にゆかりのある歌碑拓本や書を中心に、奈良以外の長野、東京など他県に言及している所蔵資料などを紹介。また、本年は歌集『鹿鳴集』が昭和15（1940）年に発刊されてから80年になる。それを記念して所蔵する関連資料を展示する。
2 特別展	新潟市會津八一記念館開館45周年記念 書家榊莫山没後10年 會津八一と異端の書人 榊莫山	7月14日（火） ～9月22日（火祝） 62日間	榊莫山は八一の書を愛好し、随筆でたびたび八一の書や歌碑を評価し、書作品からにじみ出る八一の人間性を紹介した書家であった。また、莫山自身も独特の詩書画一致の世界を築き上げた文人でもあり、八一との共通点も多数ある。展覧会は、三重県立美術館、東大寺などから莫山作品および八一作品を借用して、両者の多岐にわたる創作の足跡を紹介。
3 企画展	新潟市會津八一記念館開館45周年記念 日々新面目あるべし ～會津八一の挑戦	10月1日（木） ～12月13日（日） 64日間	會津八一は書家・歌人・美術史家だけでなく、常に様々な興味を持ち、分野を越境するような文人だった。晩年まで衰えることのなかった八一の幅広い活動を紹介する。普段あまり注目されない晩年の地域文化の振興活動などにも言及する。
4 企画展	會津八一記念館開館45周年記念 私が選んだ八一の書（作家編） 同時開催 第14回會津八一の歌を映す写真コンテスト入賞入選作品展	12月22日（火） 2021年3月28日（日） 78日間	当記念館で講演あるいは来館された俳優・松村雄基氏、歌人・高野公彦氏、批評家・若松英輔氏、工芸家・宮田亮平氏、書家・杭迫柏樹氏、篆刻家・薄田東仙氏、陶芸家・斎藤尚明氏、絵手紙作家・小池邦夫氏ら芸術家や文芸家が選んだ八一作品の紹介を中心に、またそれぞれの作家の作品も併せて陳列。

展示替えのための休館日	7/6～13	8日間
	9/23～30	8日間
	12/14～21	8日間
作品解説会	企画展 期間中	月2回（第2、4日曜日）午前11時
	特別展 期間中	毎週日曜日 午前11時

(イ) イベント ※交渉予定も含む

<講演会>

八一祭記念文芸講演会 講師：松村雄基氏（俳優）と角田勝久新潟大学准教授との対談（交渉中）
演題：「想いを形に～美を求めて」－會津八一のこだわりを迫る（仮題）
日時：2020年7月31日（金）午後6時30分～8時予定
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：150名 参加費未定

特別展記念講演会 講師：北河原公敬氏（東大寺長老）
演題：「榊莫山先生と私」（仮題）
日時：2020年9月5日（土）午後2時～3時半予定
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：150名 500円

春・文芸講演会 講師：未定
演題：未定
日時：未定
会場：未定
定員：未定 参加費未定

秋・文芸講演会 講師：肥田路美氏（早稲田大学會津八一記念博物館館長）未交渉
演題：未定
日時：未定
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：150名 500円

冬・文芸講演会 講師：宮田亮平氏（文化庁長官）未交渉
演題：「八一に魅かれて」（仮題）
日時：2021年3月 午後2時～3時半予定
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：150名 500円

(ウ)新潟県書道協会所属の書家による展覧会タイトルの揮毫と展示室入口への掲示

年4回の展覧会、1回の展示につき2人に担当していただき、会期の前半と後半にわけて掲示する

(エ)八一往復書簡集「雁魚来往」第8集の刊行

會津八一と文化人との往復書簡の読み下し文、註釈、関連資料図版を掲載。
新潟日報事業社で刊行予定

(オ)「會津八一の歌を映す」第14回秋艸道人賞写真コンテスト

公募ポスターと応募要項の制作と発送（2020年4月中）

- ① 審査・結果発表(2020年12月上旬)
- ② 表彰式：2021年1月下旬または2月

(カ) 新潟・京都・奈良交流会 ？

(キ)学習講座 (会費で充当)

「八一を知る」入門編

講師：当館職員（館長、事務長、学芸員）

日時：9月から12月の月1回 午後1時30分～3時

会場：メディアシップ6階 ナレッジルーム

定員：45名

會津八一の歌を読む会 「かまづかの会」

講師：若月忠信氏（文芸評論家）

日時：毎月第1土曜日 午後1時30分～3時

会場：砂丘館

(ク)鑑定会 春秋2回を予定

春の部

日時：2020年6月13日（土）を予定 午後1時30分～3時

会場：會津八一記念館

秋＝未定

(ケ)アウトリーチ活動

- ・4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館などに働きかけ案内を送り、依頼のあるところから実施

(コ) 他団体との関連イベント

○「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展

ミュゼ雪小町（上越市）	4月中旬（2週間程度）	入選入賞30点
中村屋サロン美術館（東京都）	5月20日～6月28日	入選入賞30点
いかるがホール（奈良県斑鳩町）	7月2日～7月20日	入賞作品7点
奈良県立図書情報館	9月8日～20日	入賞入選30点
高松市市民活動センター	10月予定（1か月程度）	入賞入選30点
胎内市産業文化会館（中条會津八一会）	11月上旬（4日間）	入賞入選30点
三千院（京都府）	8月	入賞作品7点

○ 読売新聞社、美術館連絡協議会、広島現代美術館、新潟市美術館、練馬区立美術館主催 「式場隆三郎 脳室反射鏡」展

※2点會津八一記念館所蔵品を貸出予定

2020年3月14日（土）～5月17日（日）	広島市現代美術館
8月8日（土）～9月27日（日）	新潟市美術館
10月11日（日）～12月6日（日）	練馬区立美術館

上記2020年度事業計画は、3月25日の理事会・評議員会で承認を得た内容であり、その後新型コロナウイルスの感染の広がりを受け、中止または延期したものがあ

(ア) 展覧会事業

2ー特別展を中止し、同じ会期で「新収蔵品展」を実施する。

(イ) イベント

八一祭（7月31日）を中止する

特別展記念講演会（9月5日）を中止する

春・文芸講演会（5月29日）は延期する

(コ) 他団体との関連イベント（写真コンテスト巡回展）

上越市は中止、中村屋サロン美術館は7月に変更